

## 佐貫小学校保護者の方への説明会での質疑

期日：令和5年12月19日（火）

出席者

市教育委員会：岡根教育長・平野教育部長・細谷学校教育課長・大畑主幹  
苅込指導主事

保護者：6名

### 富津市教育委員会岡根教育長から挨拶

学校の再配置につきまして、今までもご説明をしてきましたけれども、平成30年の3月に計画を公開して、極めて人数の少ない学校が見られたことから子供たちの社会性や友人関係対応力を育てていくことが、これから社会が変化していく中でも、いわゆる生きる力というベースになるものが必要だということで教育環境を整備していくため、皆様のご理解を得て進めてまいりました。令和2年からは、天羽小・天羽中・大佐和中和再配置を進めてきましたけれども、やはり本校についても、やや人数が少ない、複式が始まっている状況から、これまでもお話をさせていただいております。皆様のご理解を得て進めて参りますので、よろしくお願ひしたいと思います。

### 佐貫小学校と大貫小学校の交流会について 12月14日実施

スライドを見ながら説明

○全校の交流会 クイズ レクリエーション

○休み時間 外遊び

○1年生 グループごとに校外学習での学習内容の発表 佐貫小：シーワールド  
大貫小：マザー牧場

○2年生 学校ごとに学習した内容を発表 佐貫小：町探検 大貫小：歌と踊り

○3年生 音楽のリズムを作り 合奏

○4年生 学校ごとに学習した内容を発表 佐貫小：県の特産物 大貫小：方言

○5年生 グループごとに読書推薦会

○6年生 グループごとにわかれて意見文の発表

交流会についての子どもたちの感想

「楽しかった」100%

※「楽しかった」「どちらかといえば楽しかった」

「どちらかといえば楽しくなかった」「楽しくなかった」の

4つから選択して回答しました。

## 学校再配置に関する保護者アンケートの実施についてお願い

### アンケート項目

#### ①学年

#### ②学校再配置についての考え

賛成・どちらかといえば賛成、どちらかといえば反対・反対

#### ③「②学校再配置についての考え」での回答の理由

概ね賛成であれば、学校再配置に取り組みたい。

概ね反対であれば、丁寧にその反対の理由に対して説明したい。

## 富津市のホームページに掲載について

これまでの議事録（本部役員説明会・保護者説明会）と、書面でも出していただいたご質問ご意見とそれに対する回答を富津市のホームページに掲載させていただきたい。

## 意見・質問等

**Q1：先ほどのアンケートで、概ねの賛成を得られたら、来年度準備をして、令和8年度を目指してということでしょうか。以前、2～3年で学校再配置について進めていく話がありましたが、あくまでもそれは目標でしょうか。**

A1：概ね賛成という得られた後で進めていきたいですし、逆に、概ね反対ということであれば丁寧に説明していきます。

**Q2：交流会で、大貫小の数人のグループの中に、佐貫小が1人ずつ入ったことは、ストレスにならなかったのかなと思います。初めて行った交流会の中で、意見交換を行わなければいけなかったのでしょうか。例えば、今回は楽しくみんなで行ってみようかとし、段階的にいい思い出を作って、楽しく遊びましたとした方がよいのではないのでしょうか。いい思い出を残して、次にまた行きたいねみたいな、また話したいね、また会いたいね、という事を積み重ねてからの合併の方がよいと思います。段階を踏んでもらえたらと思います。交流会のプログラムはだいたい市役所のお考えですか。交流会を佐貫小で実施する計画はありますか。**

A2：内容につきましては、佐貫小と大貫小で、協議して、話し合われた結果です。佐貫小と大貫小で、まず全体で1年生から6年生までやるのがよい、その後は授業という形で行いました。今後また交流会を開く際に、そういった意見もござい

ましたというのをお伝えさせていただきたいと思います。担任の先生は、この子たちはこういうことできるだろうという話の中で、動いてるんだと思います。今後、ご意見を各学校に伝えて、しっかりとしたステップを踏んでいくように伝えていきたいと思います。

**Q3：「100%楽しかった。」ということが、本当にあるのかなと疑問に思います。親としては、「楽しくなかった。」と言える環境が整っているか心配になります。**

A3：アンケートにつきましては、子どもたちが持っているタブレットで、集計をさせていただきました。

**Q4：再配置を行っても学童保育を残してもらいたい。**

A4：学校再配置する際には検討したいと思います。

#### **教育委員会からの発言**

天羽小学校には、天神山・竹岡・金谷の子が来ています。それぞれの地区にある文化財などの各地区の良さを掘り起こすことが、これから学校には求められます。富津市を知ることが、大きな課題になってきます。やはり故郷富津市という視点が大事だと思います。仮に一つの学校になっても学区をしっかり見たり、富津市を見るという視点が大切だと思います。

**Q5：佐貫の歴史を子どもたちが覚える機会がなくなることが心配です。また若者が流出して、子供がどんどん少なくなる。これは多分教育だけではなく、行政の問題で、歯止めをかけることをずっとしないまま、ないがしろにしていたのではないかという思いがすごくあります。子供たちが大人になったときに、佐貫は中学校がなくなったという思い出が残ったところで、佐貫の地区にどういった歴史があって、先祖がどうやって生きてきて、頑張ってきたんだろうというものが子供たちの中に育たないと思います。すごく自分の中では心配です。「そういうところを子どもたちに教えていってあげたい。」と言ってくれてすごいうれしいことですが、結果として学校がなくなってしまうたら、元に戻ることはない訳で、仮に人口が増えて、また戻すということもあるかもしれませんが、何十年先になるかわかりません。大変でしょうが佐貫小学校を守り続けて、モデル都市になるようなくらしいの気合いをもって、やっていけるような、少数だからこそそのモデルみ**

たいな切り替えができてくれたら、すごくありがたいなと思います。佐貫地区で生まれた人に対して心の故郷はしっかり残して行ってほしいなと思います。だから何が何でも私も反対だっていうことはさらさらないですけど、人間として育っていく、一番心の支えになるものが何もなくなっていく大人を作ってしまうのではないかと心配です。

A5：児童数減少による学校再配置は、歴史の中から言えば、初めての動きをしているということになります。だから、その地区の文化とか歴史などの話をしっかり受け止めなければならない部分だと思いますが、全体として今、富津市全体の歴史や文化をしっかり子供たちが身につけていって、富津市で育ったという意識を持ってもらいたいです。佐貫小が再配置された場合、佐貫のことを知ってもらう人たちが本当に育つんだろうかということが懸念されるので、しっかりと教育課程を組む必要があります。やはり2、3人の少数になったときに、意見交換が深まらず、みんなが同じ答えになってしまったら、意見交換をする中でどうやって自分は動いていくか考えていくことは、小さいうちにある程度は経験していかないと、社会に出たときの対応能力について心配であって、少人数で意見交換ができることはすごく大事なんですが、少なすぎてしまうと困る部分があると思っています。大きな学校を作ろうとは考えていません。

**Q6：スクールバスの安全について配慮してほしいです。スクールバスでは、親が時間に追われます。寝坊し、バスに乗り遅れたら、親が送っていくしかありません。親は親で仕事があり体調が悪くなれば迎えに行かなくてはいけないことも大変です。**

A6：具合が悪くなったときの早退については、学校とともに対処方法を考えていければと思います。

**Q7：佐貫小の子供が少ない中で学年や全校で遊んだり、それは楽しいですよ。大貫に行ったり、佐貫に来たり、交流会をしていった方がよいと思います。子供同士だから、仲が悪いなどいろいろ出てくると思うので、それについては、慌てずゆっくりうまくやっていってもらえればと思います。**

A7：子供たちの、多くの人数的中で交流しているっていう姿を求めたいというのは、現時点でもあると思います。

**Q8 : 子どもを育て守るという趣旨が同じであれば、学童保育を営んでいるところに対して、補助金ではなく給付金を出すってことは検討できないでしょうか。**

A8 : 市単独で給付金は、行っておりません。国とか県の補助金と市がある程度の負担はするという基準で学童保育への補助金は成立していると思っています。

**Q9 : 市の財政の中で、割り振らなくてはいけない事情は分かりますが、子どもを育てるために、そこに力を集中させるのか、みんなに配付するのか。過疎化が進むようであれば、育てやすいような、子どもが結婚して育て、できる環境を整備してあげるお金の比重を持っていくのか。例えば、我々も高齢になって、他人のお世話になるそこに配分するのか、もしくは子供たちをどんどん増やすことに対して、配分する比重を大きくしてあげるのか。そのバランスで、子どもたちの数が増え、その子どもたちが成人すれば、その人たちが税金を納めて市が潤う。そういう回転を、将来に対しての投資として、お金の配分を増やす努力をしていただくっていうのはできないのかと思います。それが学童保育であったり、小学校を残すことであったり、再配置するにしても、再配置していく中で予算がかかっていくときに、お金を集約していかなければいけない部分があると思います。**

A9 : 今、富津市の市政の中では、他の市もそうかもしれませんが、子育てに対する財源を割くことは、懸命にやっているとと思っています。また、おっしゃるように「それでは足りない、こういうふうにしてもらいたい。」という意見をいただいて、考えていくというのが実態だろうと思っています。

**Q10 : 学童保育は非常に助かっていますが、利用してない方もいますので、難しい面はあると思います。**

A10 : 意見交換しながらどういう社会を作っていく、どういう富津市を作っていくという話は常に行っていかなければならない作業だと思っています。

**Q11 : 地区の話が出ましたが、大佐和地区というのは、統廃合した場合、全国的に見ると大きな学区ではないですか。**

A11 : それほど大きくありません。

**Q12 : 来年入ってくる1年生は何人ですか。**

A12 : (12月19日時点では) 2人の予定です。例えば1人だから、どうしても違う学

校に行きたいですと言えば、それは考えなければいけない要因だと思っています。  
その要望については対応を検討したいと考えています。

**Q13：複式学級は3学級になるのでしょうか。**

A13：1・2年生の複式学級は2学年足して8名以下で、他の学年は2学年足して16名以下で複式学級になります。児童数の推移は現時点での推測になります。

**Q14：再編するなら佐貫に通わせないという考えもあると思います。**

A14：もしどうしても指定校をかえてくださいという要望があれば検討しなければいけないと思います。

**その他、説明会の中での保護者の方々からのご意見**

○佐貫と大貫と吉野の違いはなく、十分文化の一緒になれる下地はあると思います。確かに学校がなくなることは寂しいです。私も初めは反対というところから始まりましたが、もう少し考えなければいけないと思っています。

○地域で子どものために何かできないかなと考えて取り組んでいます。本当に佐貫はいい地域なので、大事にしてもらいたいと思います。

○佐貫中学校が合併し、小学校もなくなると寂しいです。中学生が下校後に遊ぶことがないと聞いています。

○アンケートをして保護者の声を聞いたり、学校などからの資料提供もしてもらいたいです。